

単元到達度評価問題の活用

西部教育局
お役立ち情報
令和2年7月号

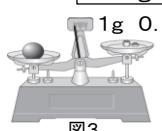
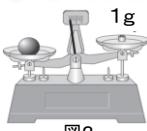
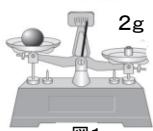
昨年度の課題から指導のポイントを探る(7月)!

※3年生は、9月分より掲載いたします。また、6年生は、7月の出題内容を新たに設定しているため、本号には掲載しておりません。

第4学年 小数

しげるさんは、赤、青、黄、緑、黒の5つの球の重さをはかり、そのけっかくを右のように紙にきろくしておきました。

ところが、どの色の球がどの重さなのかわからなくなってしまいました。そこで、しげるさんは、黒の球の重さをもう一度調べるために、3つのじっけんを次のじゅん番で行いました。



0. 9g
1. 3g
1. 5g
1. 7g
2. 4g

【じっけん①】
はじめに、左の皿に黒の球をのせて、右の皿に2gのおもりを1つのかせました。

【じっけん②】
次に、右の皿に2gのおもりのかわりに、1gのおもりを1つのかせました。

【じっけん③】
さらに、右の皿に0.5gのおもりを1つ加えました。

(単元到達度評価問題 4年 6月 より)

小数は、整数と同じように十進位取り記数法によって表されることから、小数の大小比較や計算も整数と同じ考え方でできることに気付かせることが大切です。また、小数についても、数の相対的な見方の理解を深めておくことも大切です。

図や表に表しながら、小数の大小関係を捉える。
条件に合わせて筋道を立てて考え、結論を出す。

どのてんびんもつりあってないから、黒い球の重さはわからないよ。

でも、黒い球の重さは、この5つの重さの中のどれかだよ。
実験の結果を図や表に整理したらどうかな?

理科の実験みたいに表に整理してみたらどうかな。

黒の球の重さについて 実験からわかったこと	黒の球の重さとして 考えられるもの
実験① 2gより軽い	2g
実験② 1gより重く2gより軽い	1.3g, 1.5g, 1.7g
実験①②③ 1.5gより重く2gより軽い	2.4g

数の大小を見るから数直線に表してみるのもよさそう。

0.9 1.3 1.5 1.7 2.4 (g)

多くの情報を整理しながら思考するための働きかけ



注目!

まず、実験①の結果から言えることは何かな?



実験①の結果から、黒い球は、2gより軽いということがわかります。

つまり、2gより重い2.4gはあてはまらないということだね。

実験① 2gより軽い 0.9g, 1.3g, 1.5g, 1.7g, 2.4g

数直線でみると、2gより左側が軽いということだから、2.4gはあてはまらないね。

0.9 1.3 1.5 1.7 2 2.4 (g)

同じように、実験②の結果も考えると、0.9gがあてはまらないことがわかるよ。

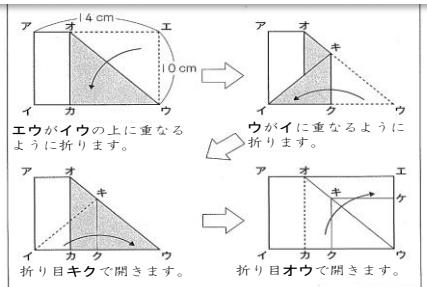
問題文や条件からわかることを、図や表に順番に整理しながら考えていくといいのだね。



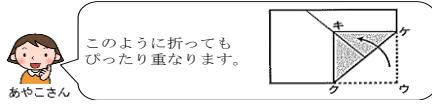
図や表に表しながら、小数の大小関係を捉える。
条件に合わせて筋道を立てて考え、結論を出す。

第5学年 合同な图形

あやこさんは、同じ大きさの長方形の紙を使って、下の図のように折りました。



折った紙を開いて、もとの長方形にもどすと、折り目の線のところに、四角形キクウケができていました。



四角形キクウケはどのような图形ですか。辺の長さと言葉を使って書きましょう。
(単元到達度評価問題 5年 7月 より)

四角形キクウケは正方形に見えるけど、辺の長さがわからないからそうとは言い切れないな。

折ってぴったり重なる部分は合同な图形になるよね。それを使って説明できないかな。



注目!

合同な图形の性質に着目して思考を進めるための問いかけ

合同な图形を見つけると何がわかるのかな?



合同な图形は対応する辺の長さが等しくなるから、それを使ったらどうかな。

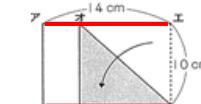


注目!

三角形キクイと三角形キクウも合同になるから、辺クイと辺クウの長さが等しくなることがわかるね。



最初の形が長方形だから、辺イウの長さは14cmだよ。



なるほど! 辺クウは辺イウの長さの半分ということだから、 $14 \div 2 = 7\text{cm}$ になることがわかる!

合同な图形を見つけていくと、四角形キクウケの4つの辺の長さがすべて等しくなることがわかるよ。だから、正方形と言えるね。



注目!

合同な图形を見つけて、対応する辺を順番に考えいくと、分からない辺の長さも見つけることができるね。定義や性質を使って問題を解決することができるんだね。

图形の定義や性質を正しく理解し、表現する。
また、それらを条件として、論理的に考えを進める。

図、式、言葉に表しながら筋道を立てて論理的に思考する過程を学び合うことが大切です!

しげるさんは、赤、青、黄、緑、黒の5つの球の重さをはかり、そのけっかを右のように紙にきろくしておきました。
ところが、どの色の球がどの重さなのかわからなくなってしまった。そこで、しげるさんは、黒の球の重さをもう一度調べるために、3つのじっけんを次のじゅん番で行いました。

0.9 g
1.3 g
1.5 g
1.7 g
2.4 g

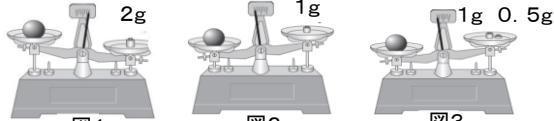


図1

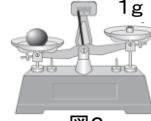


図2

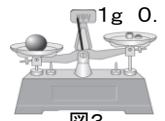


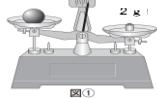
図3

【じっけん①】
はじめに、左の皿に黒の球をのせて、右の皿に2gのおもりを1つせました。

【じっけん②】
次に、右の皿に2gのおもりのかわりに、1gのおもりを1つせました。すると、図②のようになります。

【じっけん③】
さらに、右の皿に0.5gのおもりを1つ加えました。

(2) しげるさんは、赤、青、黄、緑、黒の5つの球の重さをはかり、そのけっかを右のように紙にきろくしておきました。
ところが、どの色の球がどの重さなのかわからなくなってしまった。そこで、しげるさんは、黒の球の重さをもう一度調べるために、3つのじっけんを次のじゅん番で行いました。



図①



【じっけん①】
はじめに、左の皿に黒の球をのせて、右の皿に2gのおもりを1つせました。
すると、図①のようになります。



【じっけん②】
次に、右の皿に2gのおもりのかわりに、1gのおもりを1つせました。すると、図②のようになります。

図③

【じっけん③】
さらに、右の皿に0.5gのおもりを1つ加えました。
すると、図③のようになります。

しげるさんは、上のじっけんについて次のように表にまとめました。

	黒の球の重さについて じっけんからわかったこと	黒の球の重さとして 考えられるもの
じっけん①	2gより軽い	0.9 g、1.3 g、1.5 g、1.7 g
じっけん①と②	1gより重く2gより軽い	イ
じっけん①と②と③	ア	ウ